

100歳の川島たづさんと 98歳の南谷秋枝さんから 元気をいただきました

果物が大好きな南谷秋枝さん、川島たづさんとみかん狩りに行く計画を立てました。

当日の11月20日は、今年一番の寒さ。外出するかどうかが、お二人と相談すると「これくらいの寒さは寒くないので、出掛けましょう」と98歳の秋枝さん。「私は風邪ひかないから大丈夫」と100歳のたづさん。この元気に驚きながら南濃町のみかん畑に出掛けました。

幼稚園児の元気な声が響くみかん畑でみかん狩りを開始。ご自分でみかんをとって食べたり、スタッフに採ってもらったり、パクパクと召し上がっておられました。気が付くと寒さを忘れて1時間半くらいの時間が経ち「もうお腹いっぱい!!」と言われました。お腹がいっぱいになりながらも最後は受付で柿の試食をされ、袋一杯の柿をお土産に買われていました。

その後、カラオケ好きな秋枝さんと相談し、カラオケに直行。秋枝さんが歌を歌われるとそれに合わせてたづさんが手拍子をされたり、合いの手をされたりと、楽しく過ごされました。カラオケの熱唱で、みかん狩りでいっぱいになったお腹もすっかり減り、お昼はカラオケを歌いながらラーメンをペロリと召し上がっておられました。

みかん狩りからカラオケ。好きな事をするときには、年齢なんて関係ないんだと教えていただいた、98歳と100歳の元気なお姿にパワーをいただいた一日になりました。

(向井千代子)



丹良隆さん 大ファンの 矢沢永吉コンサート で感激

丹良隆さんがすずの郷に入居されたのは、今から5年前の52歳の時でした。

この5年間、丹さんのやりたいこと、行きたいところ様々な思いや夢を聞いてきました。その中の一つに『矢沢永吉のコンサートに行く』という夢がありました。丹さんは、部屋でいつもCDを聴いておられました。キャロル(ソロになる前のバンド)時代からのファンだそうです。丹さんのその夢を叶えるために、毎年ライブチケットをゲットしようと試みていましたが、毎年のように抽選落ち。それがなんと今年!!チケットを取ることができました。すぐに丹さんにそのことを伝え、大喜びで、当日が来るのを毎日楽しみにされていました。

当日、日本ガイシホールへ。会場に入ると丹さんは、大勢の矢沢ファンがタオルを持って盛り上がり、ステージのバックスクリーンの『YAZAWA』の文字の迫力に感極まったのか、喜びの表情を浮かべながら大号泣されていました。そして永ちゃんコールの中、矢沢永吉が登場すると、さらに号泣、声を上げて興奮されていました。今年で永ちゃんは68歳だそうです。ソロになって40年。永ちゃんは言っていました。「人は小さなHAPPYで何度も立ち上がり、前に進める。40年矢沢を追いかけて一緒に走り続けて、ここに来てくれてありがとう。そしてこれからも走り続けようぜ」と。68歳とは思えない、声量とパフォーマンス、そして熱い言葉。丹さんも含め、キャロル時代からのファンは、青春時代の気持ちのまま、また一層格別な想いを共感されているのでしょうか。その後もロック、バラード、キャロル時代の歌も熱唱。丹さんもほとんどの曲が大好きな歌だったので、終始感激、大興奮、大号泣でした。そしてフィナーレはファン一体となって大合唱&タオル投げ、あっという間の夢の時間でした。丹さんも「よかった。よかった。ありがとう」と何度もおっしゃられ、一生の思い出になったと話されていました。

(安藤真)



武光観光だより ~世界一周旅行 犬山リトルワールド~

11月1日。快晴でお出掛けにピッタリな日に犬山市にある「リトルワールド」に行きました。息子様、娘様、お孫様のご家族参加もあり日帰りのプチ世界一周旅行となりました。

お一人お一人みなさん好きな民族衣装を選んで頂き記念撮影をしました。藤江良子さん、加藤政子さん、早瀬りつ子さんがオランダメルヘンの衣装を

身にまといドイツをお散歩していると他の来場者の方々から「カワイイ!!」と声を掛けられ若い方々と一緒に写真を撮ったり、星野勘市さんは親子三代で沖縄の衣装に真顔でパッチリ、竹内よし江さん親子は王子様とお姫様に変身し周りのみんなも自然に笑みがこぼれました。世界のパン祭りが開催中で、沖縄で話題になっているレインボーベグルや南アフリカを代表するパンをくり抜いてなんとワニ肉が入っているカレーを入れたバニーチャオなど、普段では食べる事が出来ないものを世界各国を回りながら食べ歩きしました。「美味しいわ~」と親子でご参加の北野淑子さんも満足気です。そして最後はお土産タイム。悩みながら沢山お土産を購入されていました。お土産選びも外出の醍醐味です。普段の日常とは違った雰囲気近藤輝子さんはいつも以上にモリモリ召し上がられ、笑顔を沢山見せて下さったのがとても印象的でした。

これからも武光観光は、初めての体験にワクワクできるような旅をご提案させていただきます!!

(野田正史)

